



今年の夏休みには、千葉県や宮城県沖を震源とする大きな地震が2回も発生しました。その時、皆さんどこにいましたか？ 夏休みの宿間ということで、様々な場所で地震を体験したのではないでしょうか？ 電車が動かず帰れなかつた人も・・・そこで、「もし自宅以外の場所で地震にあってしまつたら？」というふうなことを考えてみました。

皆さんも、この記事を参考に、「もしこんなところで地震にあつたらどうしよう？」と対策を考えみてください！



油断大敵！

(ゆだんたいてき)
つなみは、いっしゅんにして、人も物ものみこみます！気をつけて！

海で地震が起きた時気けなければならぬ事

1. 地震のゆれが小さくても津波が発生することがあるので、油断しないようにする。
2. 海でおよいでいる時小さなゆれでもすぐあがって高い所へ行く。
3. そして、ラジオやテレビや防災むせんで、正しいじょうほうをきく。

<津波のひ害>

今年のお正月にスマトラ島で震がれたのは覚えていますか？日本でも津波のひ害があつた事も知っていますか？1993年北シナガラ島沖の奥尻島の青苗地区が大きな津波にあつわれてしまつました。

人的被害

重傷	240人
死者	202人
不明	83人

物的被害

床下	234
床上	221
半壊	408
一部破損	5,490
全壊	601

奥尻島青苗地区は1111戸被害がありました。今は津波がつなぐ町になつてしまつます。

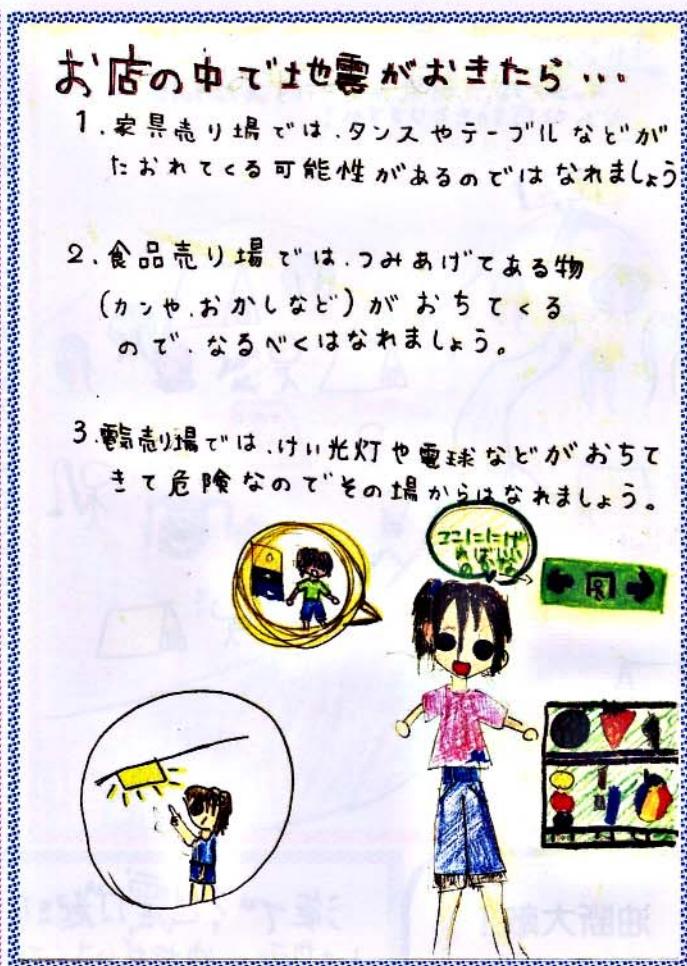
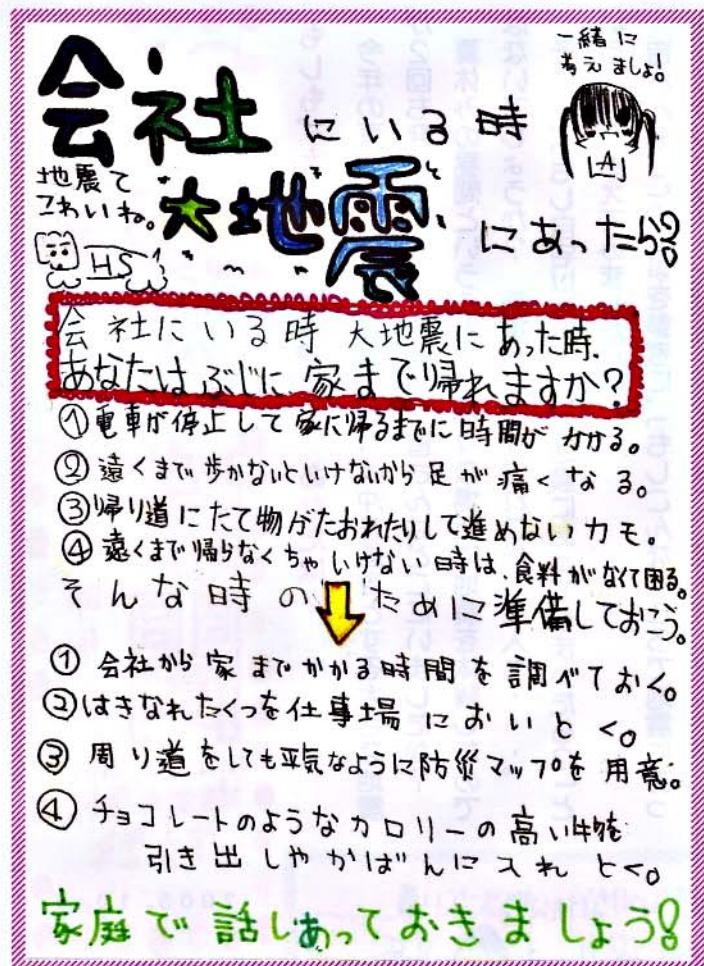
「日本損害津波総覧」(東京大学出版会)のデータより。

こんな所で地震がおきたら！

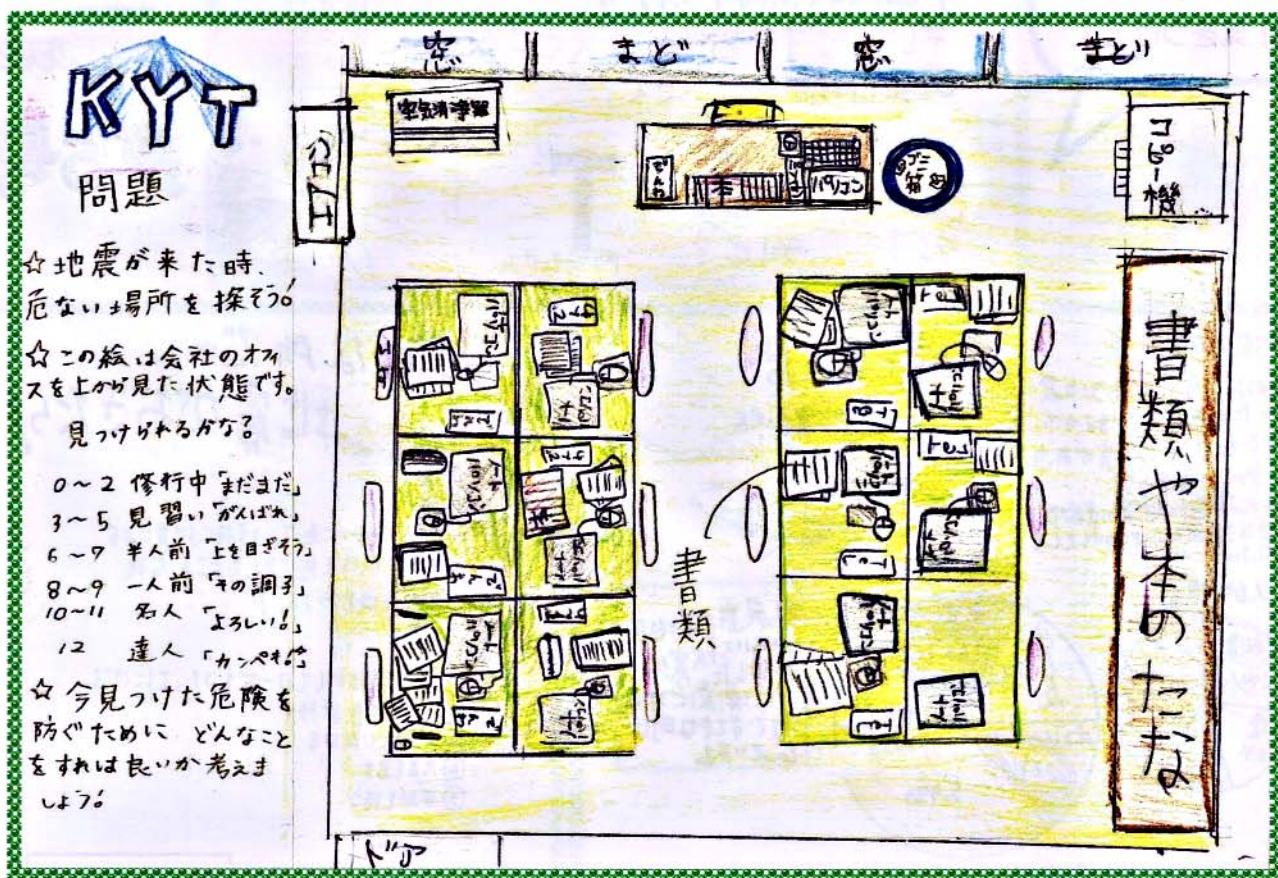
エレベーターに乗っている時に地震による大きな揺れを感じました。こんな時、あなたはどうする？

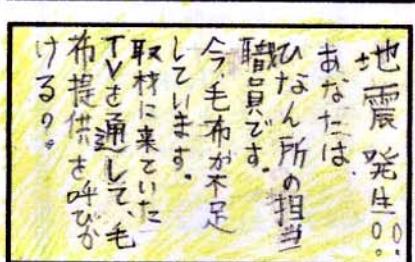
- ①天じうちは手をロープもつたてにげる
- ②ボタンを全部押す
- ③ドアもこじ開ける
- ④大声を出す
- ⑤救助を待つ

答えは4ページ



いざというときに あわてないために、
 もう一度、身の回りや生活を見直してみましょう！！ 準備できるものは準備を！！





CROSSROAD(クロスロード)

災害時の分かれ道・・・

災害時には、重大な選択を迫られることがあります。
その時あなたは、どんな決断をする?

今、大地震が起きました!!

あなたは、家に居ます。お母さんはかいものへ。
お父さんは会社へ行って家は、あなた一人です。
その時あなたは??

家で家族をまつ



近くの人とひなんじょへ行く

安全な所にひなんてるけど
家族とあえないかも(へへ)

こんな時あなたなら
どうしますか?

★こんな時のために、待ち合せ場所を決めておきましょう

あなたは、地震による津波が「最短20分で」くるとされる集落に住んでいます。
今、震度7の大地震が発生します。
早く避難を始めた。.....

高台へ避難している最中、おばあさんが足をけがして、歩けずになたおれていました。

おばあさんをおぶっていく?

Yes

A子) おばあさんがかわいそよ。自分がおばあさんの達場だ。たら助けてしまいもの。

C男) もしかしたら、津波がも。とおそくくまかもしれないし、助けてあげて、自分もおばあさんも助かる。たらうれしいと思う。

No

B子) おばあさんをおぶっていく最中に、津波が来たる? 助けにいって津波にあって、死んじゅうかも

D男) 津波が1分早くもかもしれないよ。きっと、他の人が助けてくれるよ。

あなたならどうする?

CROSSROAD(クロスロード)とは?

災害時への備えをどうするか。大地震が起きたらどんな対応をするか。そこでは、わたしたちの日常生活では思いもよらないような“決断すべき場面”にたくさん遭遇するでしょう。

クロスロードは、そんな決断の「分かれ道」を描いたゲームです。

トランプ大のカードを利用した手軽なグループゲームながら、参加者は、災害へのそなえや災害後に起こる様々な問題を自らの問題としてアクティブに考えることができ、かつ、自分とは異なる意見・価値観の存在に気づくことができます。湖北小学校では、夏休み中にこの「クロスロード」を使って職員の防災研修を行い、2学期には、6年生がこのゲームを使って、様々な分かれ道について話し合いました。

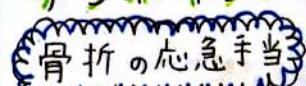
例えば「大きな地震のため、避難所（小学校の体育館）に避難しなければならない。しかし、家族同然の飼い犬“もも”（ゴールデンレトリバー、メス3歳）がいる。一緒に避難所に連れて行く？」

子どもたちは、連れて行くべきか、やめるべきかで様々な意見を交わし話し合いは白熱していました。

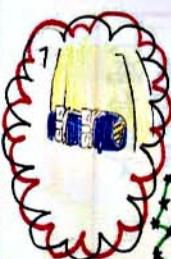
皆さんだったら？ペットを飼っている人は、事前に十分に考えておく必要がありますね。

*CROSSROAD(クロスロード)は、文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクト（林春男グループ）の成果物です。制作・著作：Team Crossroad（網代剛 吉川肇子 矢守克也：50音順）

ワンポイント！救急法！③



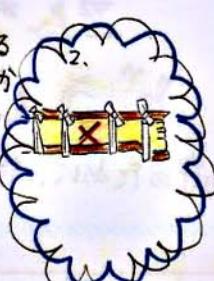
腕の場合



*副子とは？
骨折部分を動かないように固定するもの。

足の場合

1.骨折しているところの両側から副子をあて
2.



2.関節が動かないよう、①～④の順番に固定する。

①②③④

*副子に使える物
かさ・ステッキ・段ボール
毛布・板など

6年2組・3組が 防災マップを作ります！

6年2組・3組が防災マップ作成しました。11月に完成させるために今がんばっています。このマップには、災害時に役立つ色々な事が書いてあるのでそれを見て、確認して地震が来ても冷静に対応できるようにしておきましょう！

完成を楽しみにして
下さい！

「こんな所で地震が起きたら！」の答え

答え②書

説明

なぜなら、ゆれを感じてからすぐにボタンをせんふあと、エレベーターは、一番ちがい階で止まるからです。それでも重かかない場合は、きうじを行つか大声をだしてだけをよぶのがいいでしょう。

「キャンプ場での行動は？」の答え

へ答えへ

・火の始末

・山の近くからはなれる

おすすめの行動

・ラジオで情報情報を聞く！

・近くにダムなどがあることがあるので、川からも、はなれよう！

・火の始末は、地震のゆれがおさまってから！